



富津市ゼロカーボンシティ宣言

～快適な暮らしと 豊かな自然を 次世代に繋ぐために～

近年、地球温暖化に起因すると思われる自然災害が多発するなど、世界的な気温上昇による気候変動の影響は深刻な状況であり、令和元年房総半島台風をはじめ自然災害が相次ぎ、本市においても、住家の損壊、長期の停電、断水等の大きな被害を受けました。

我が国では、気候変動問題に関する国際的な枠組みであるパリ協定に定める目標の達成に向け、2050年までに温室効果ガスを国全体としてゼロにする「2050年カーボンニュートラル」を、2020年10月に宣言しました。

このような背景のなか、本市においても温室効果ガス排出削減は意欲的に取り組んでいくべき課題であり、また、解決に向けては、市民・事業者・市が、それぞれの役割を認識し、一丸となって取り組むことが必要不可欠であると考えています。

「富津市みらい構想」では、本市の目指す将来像を「誇りと愛着を持てるまち ふつつ」としています。次世代を担う若者たちをはじめ、市民の皆様は誇りと愛着を持って富津市に住み続けていただくためにも、本市のゼロカーボン実現に向け、2050年までにCO₂（二酸化炭素）排出量の実質ゼロを目指すことを宣言します。

令和6年3月19日

富津市長

高橋恭市